

# 個人投資家様向け 会社説明会



株式会社オービックビジネスコンサルタント  
(東証プライム市場 証券コード 4733)



# 奉行クラウドに おまかせあれ！

PC】奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド 新登場版 15秒

新登場!

## 奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

上場企業、会計監査人設置企業に追!!  
新リース会計基準

2027年4月強制適用

00:01

請求書DXの決定版

## 奉行Edge 請求書DXクラウド

Peppol  
PDF  
Excel

標準対応

顧客満足度調査  
2025-2026  
日本コンピュータ  
ERP(統合基幹業務システム)部門

パートナー満足度調査  
2025  
日本コンピュータ  
ERP部門

請求書DXは 奉行クラウド |



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.



## 長期安定配当

**配当減額の実績なし**  
**直近2年累計で**  
**32.5%の増配**

## 安定収益モデル

**継続収益8割超**  
**直近15年間の**  
**営業利益率約45%**

## 進化し続ける奉行シリーズ

**DOS時代、Windows対応**  
**LANネットワーク時代から**  
**クラウド・AIの時代へ**

## 不变のターゲット

**中小中堅企業の基幹業務**  
**(会計・人事・給与)に**  
**一貫フォーカス**

## Microsoft技術に完全準拠

**Azure Platform**  
**テクノロジーの優位性**  
**AI・セキュリティの優位性**

## 100%パートナー戦略

**長年築き上げた**  
**強固な信頼と連携体制**  
**BPaaS戦略展開へ**

## 製品開発力の優位性

**本社でゼロから育成**  
**生え抜き400名超**  
**One Team開発体制**

## 顧客満足度No.1

**契約継続99%超**  
**最新法令完全対応**  
**サポート満足度**

## 企業文化としての「チームOBC」

**健康経営社員500**  
**離職率3%未満**  
**高い従業員満足度**

## Index

---

1. 会社概要	P. 5
2. 当社の特徴（強み）	P. 15
3. 製品・サービスのご紹介	P. 23
4. 成長戦略	P. 32
5. 株主還元	P. 48

# 会社概要



## 【基本情報】

- ◆会社名 : 株式会社オービックビジネスコンサルタント
- ◆市場情報 : 東証プライム市場 コード：4733
- ◆設立 : 1980年12月（第47期）
- ◆代表者 : 代表取締役社長 和田 成史
- ◆事業内容 : お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等をご提供
- ◆事業所数 : 本社 + 11事業所
- ◆従業員数 : 1,304名（2025.4.1現在、臨時雇用者含）
- ◆その他の関係会社 : 株式会社オービック
- ◆その他の関係会社の子会社 : 株式会社オービックオフィスオートメーション





## 業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け基幹業務クラウド

中堅・上場企業向けSaaS型 ERP

従業員の働き方改革を実現する

すべての業務とつながるひろがる



## 国内企業 累計82万導入 高い導入実績

累計導入数  
**820,000**

※2025年8月現在

中堅企業 > 累計 **19,800** 社  
奉行V ERP > 累計 **16,300** 社  
上場企業 > **1,789** 社

※2025年8月現在

奉行クラウド・  
奉行クラウド Edge  
累計導入システム  
**152,400** システム以上  
※2025年8月現在

契約継続率\* > **99.3%**  
利用者数 > **1,723** 万人

\*契約継続率 2024年4月～2025年3月の売上金額と解約金額から算出



### 【業績・財政】：2025年3月期（第46期実績）

#### ◆ 業績（非連結）

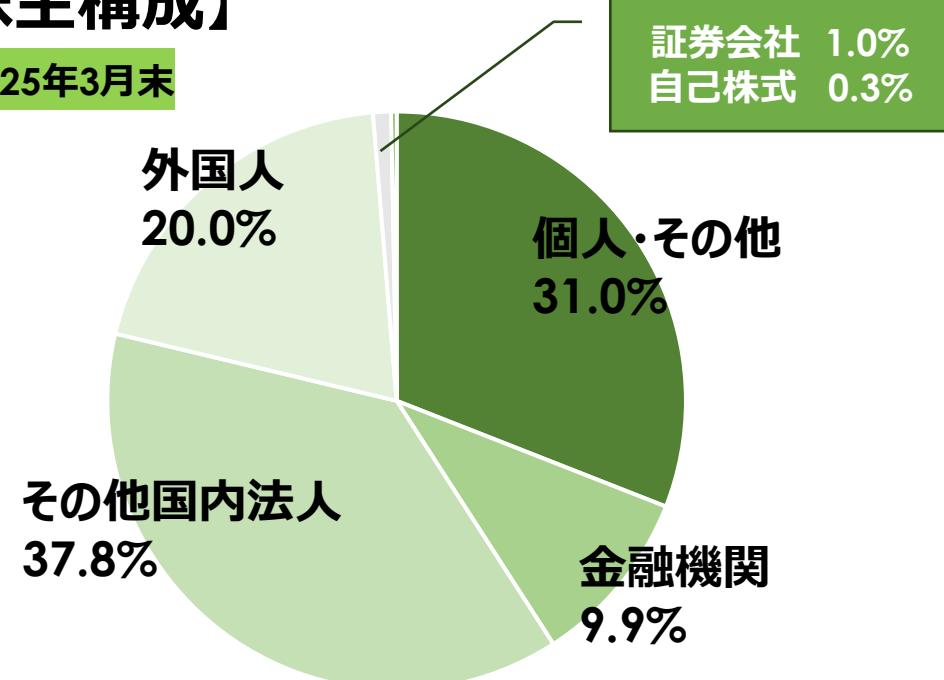
- 売上高 : 469億8,428万円
- 経常利益 : 230億4,485万円
- 当期利益 : 161億8,292万円

◆ 総資産(期末) : 2,086億3,886万円

◆ 株主資本(期末) : 1,589億9,000万円

### 【株主構成】

2025年3月末

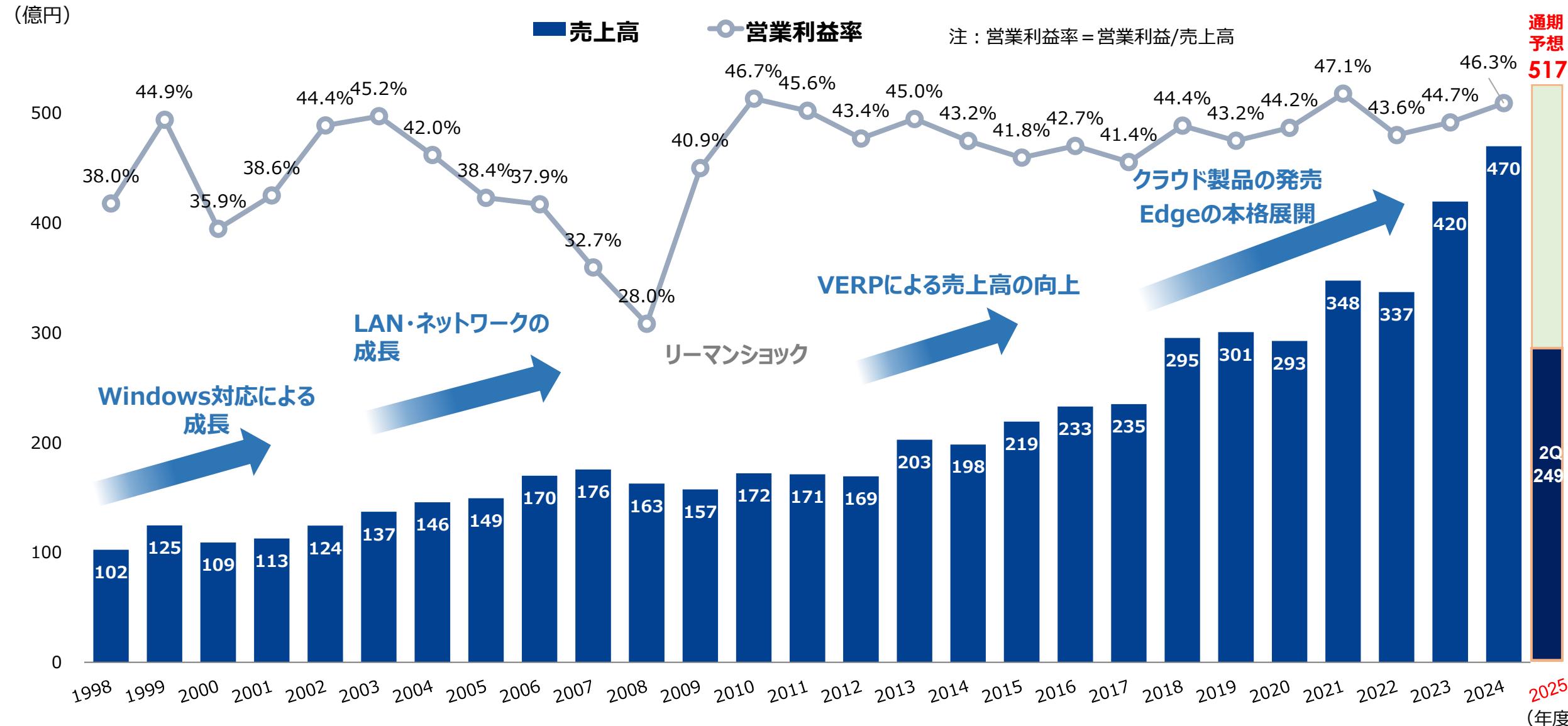


### 【登録特許権数】

- 累計 : 107件 (現在有効 : 86件)



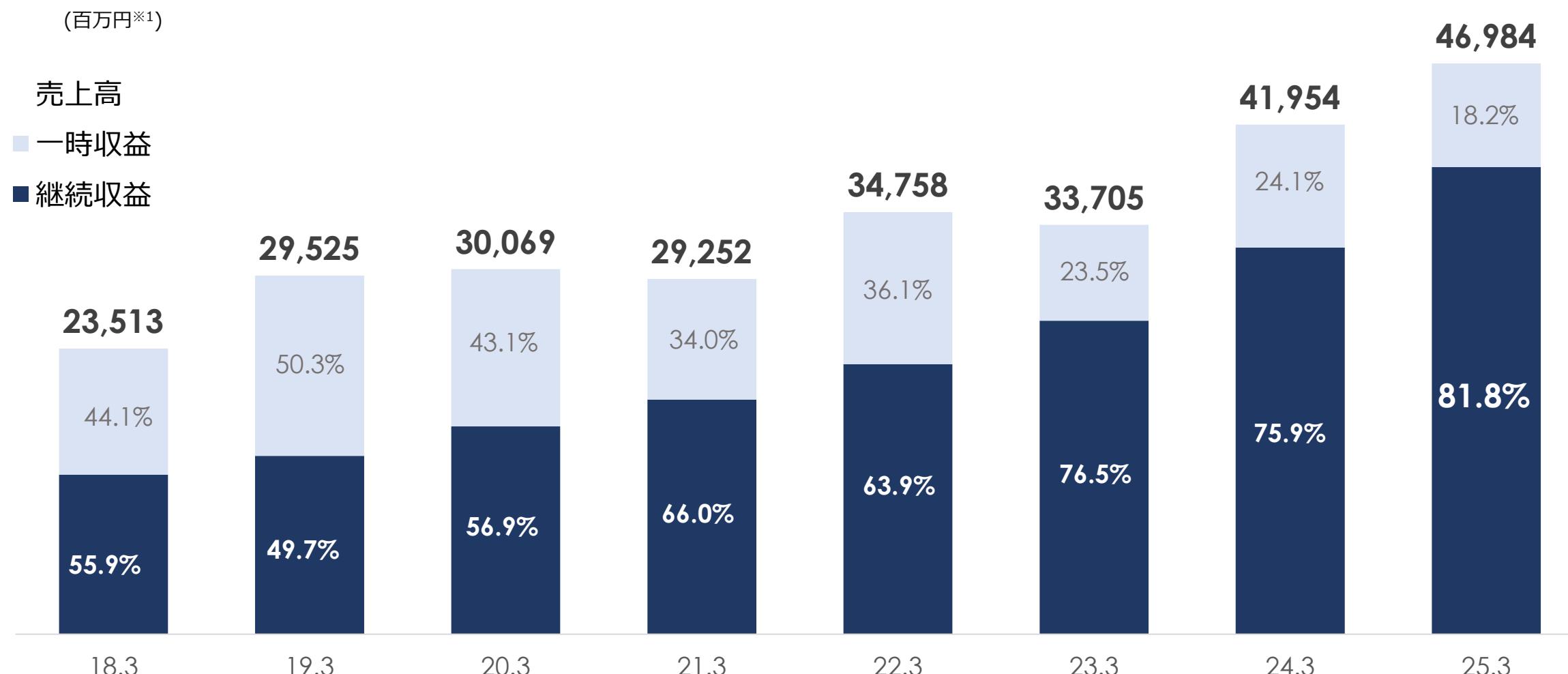
# 会社概要 - 売上高および営業利益率の推移





## クラウド増加により継続収益比率が8割超

### 売上高と継続収益割合の推移

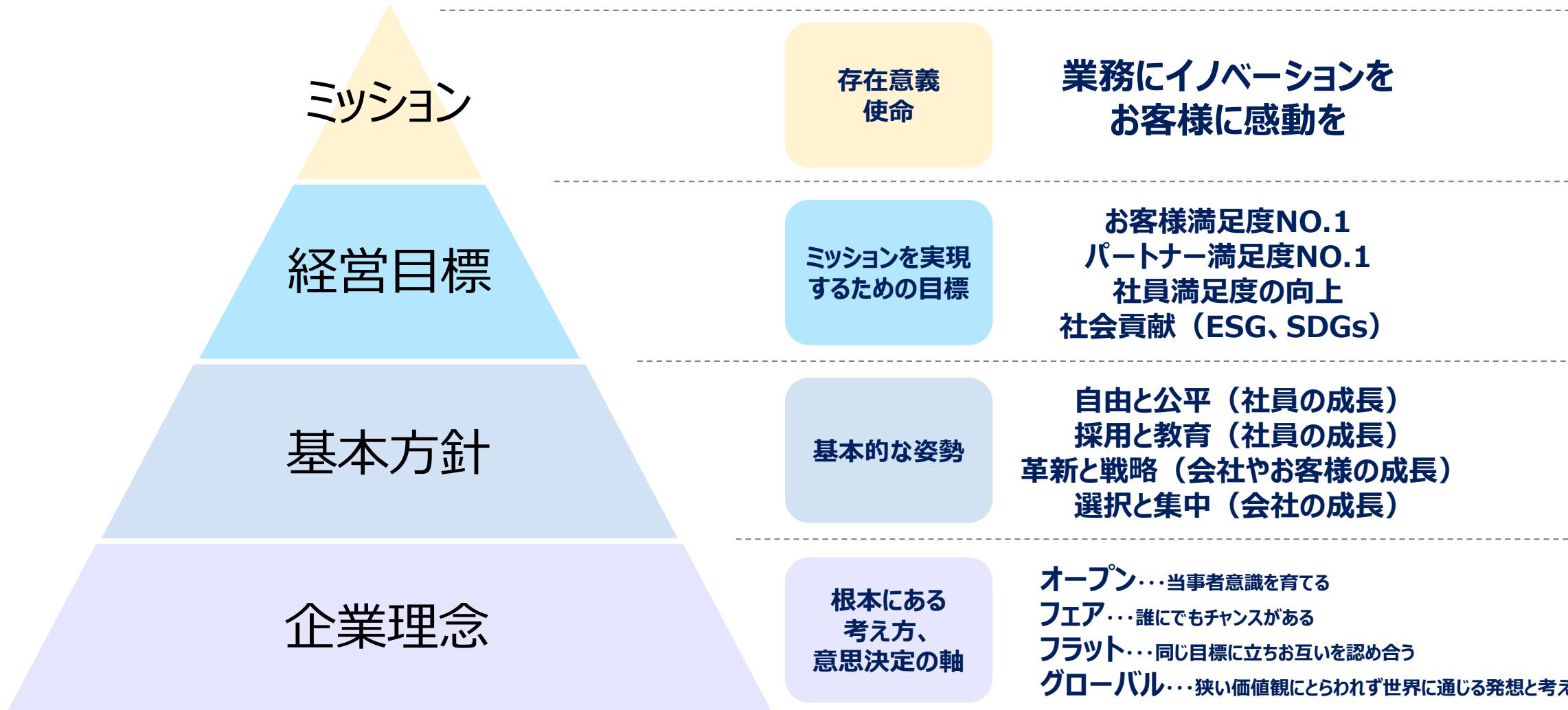




OBC PRESENTS



当社は「経営理念」のぶれない軸を根底に、「基本方針」の心をもって会社も社員も成長し、「経営目標」への挑戦を続け、「ミッション」実現のため全力で取り組んでまいります。





# チーム OBC

製品をつくる人

販売する人、販売支援をする人

お客様をサポートする人

会社と社員を支える人

役割は違っていても、

OBCという会社そのものが

One Teamとなって力を合わせ、

お客様へ大きな貢献をしていこうという

考え方と、企业文化

### ✓ 人財採用・人財教育

「人財」という財産として捉え、  
人財の育成に注力

### ✓ 健康経営

社員が心身ともに健康で、能力を  
最大限に発揮することが、企業の  
発展に繋がる

### ✓ ワークライフバランス

社員の充実した人生設計を実現  
多様性の時代に合わせた環境

### ✓ 多様な人財活用

各々の個性と強みを発揮するため  
のマネジメントを実践  
ダイバーシティ経営を実現

### ✓ ウェルビーイング

社員がイキイキのびのびと、自分らし  
く仕事ができる会社づくり

### ✓ エンゲージメント

様々な取り組みの結果、社員のポ  
ジティブで自律的な成長が促進さ  
れ、会社の成長に

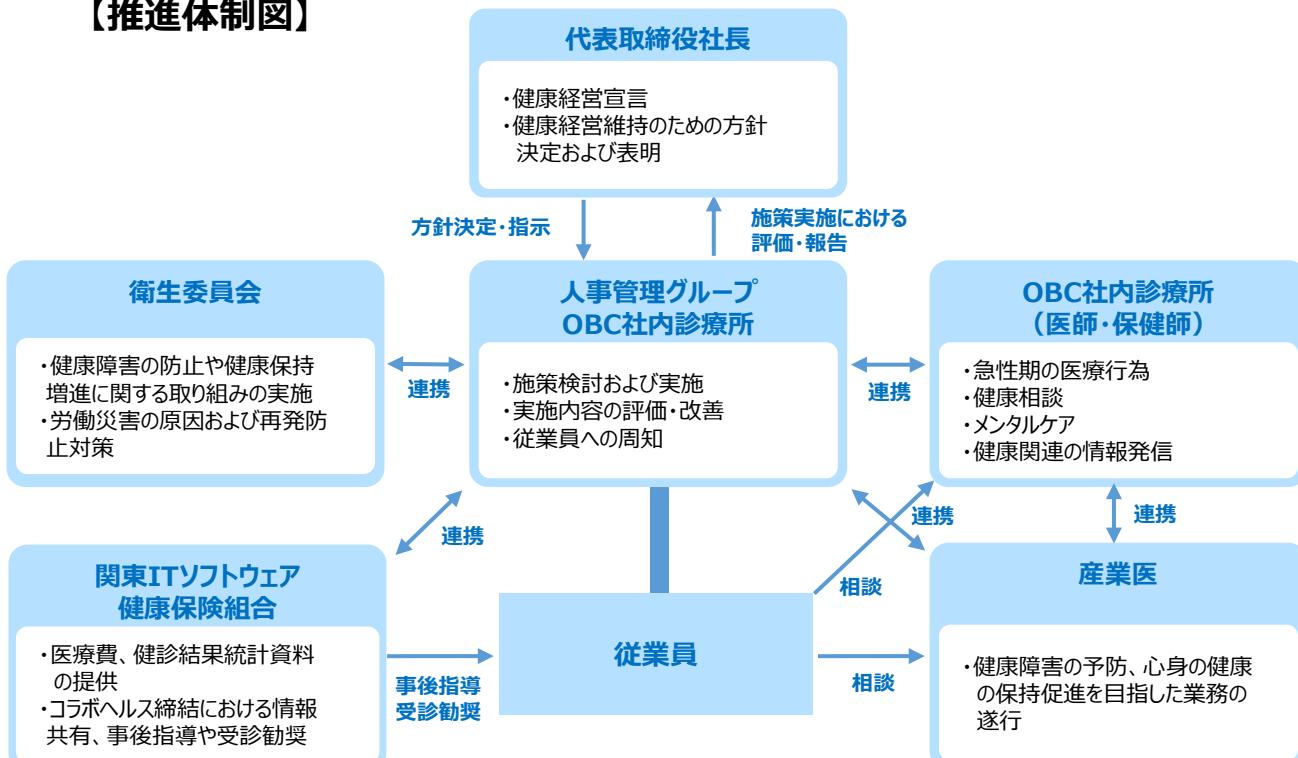


## 健康経営宣言

オービックビジネスコンサルタントは、社員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮することが、企業の発展に繋がると考えます。

この考えのもと、時代の変化に応じた健康増進施策の検討・推進を会社、社員、その家族が一体となって取り組み、オープンでフェアな働きやすい環境づくりを目指します。

## 【推進体制図】



## 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）ホワイト500」の認定を取得



### ■「OBC社内診療所」と最近の健康経営への取り組みについて

2022年4月に1000人規模の企業では数少ない、医師が常駐する「OBC社内診療所」を開設し、社員に対して安心・安全と健康を提供する存在として、「社員とその家族の健康カウンセラー」、「健康の問題に向き合う診療機関」、「予防・未病への取り組みを行う専門家」の3つのサービスの提供を開始しました。

「OBC社内診療所」は、従来の健康管理室とは異なり、クリニックとしての機能を持つ施設です。

また、大学病院の地域医療連携協力機関としても登録されており、これにより緊急時には大学病院への紹介／連携が迅速に行われ、社員ならびにそのご家族は高度かつ専門的な治療を受けられる体制となっています。



# 当社の特徴（強み）



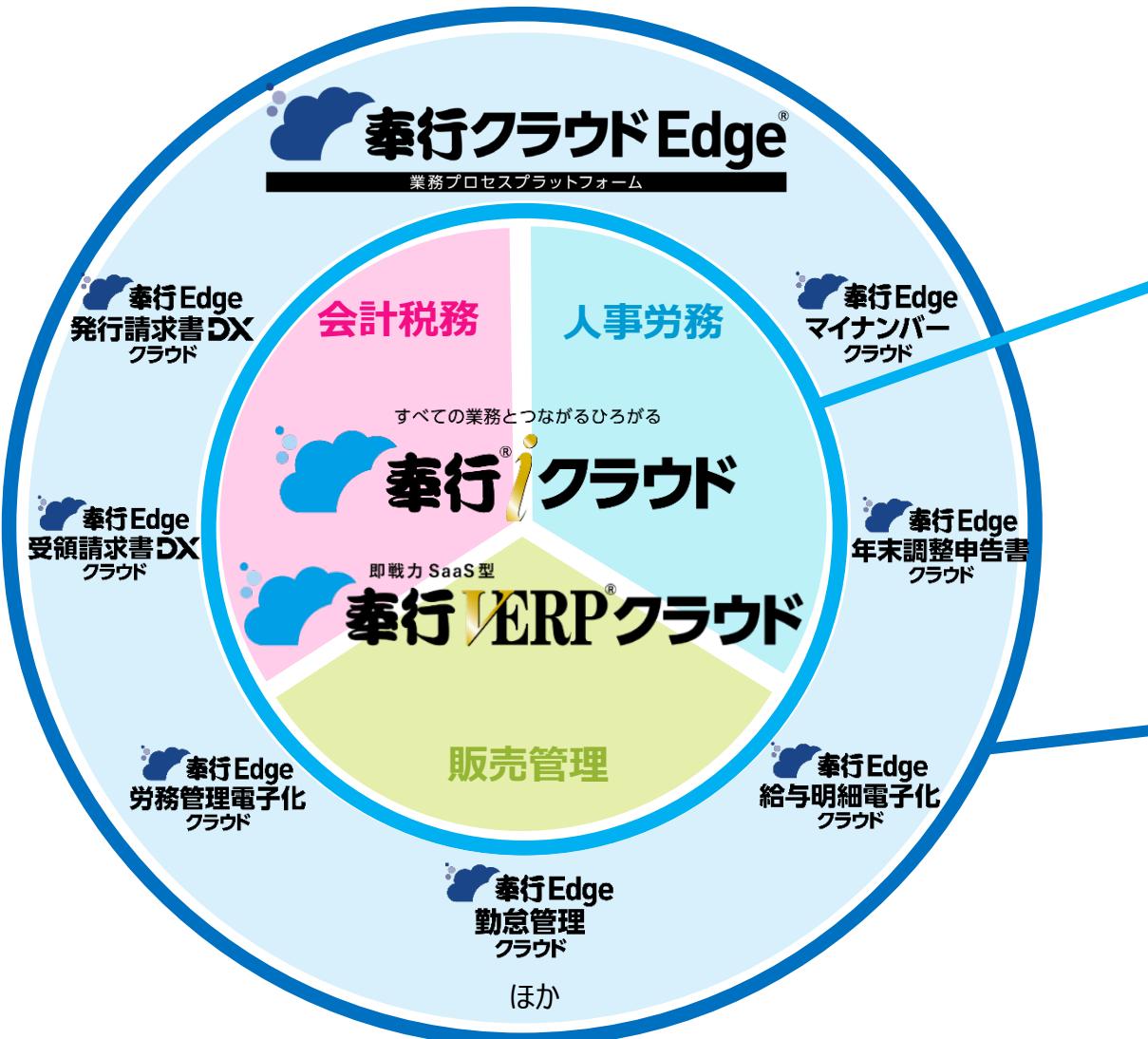
ビジネスは「選択と集中」の連続です。強みに集中することで、企業としての専門性を高めること、時代が変わってもぶれない軸を持ち続けること、OBCの5つの強みが、他社との違いを際立てます。

- 1 企業業務（会計・人事・給与）の業務サービス及びEdgeサービスにフォーカス（注力）する
- 2 中堅及び中規模・小規模企業にフォーカスする
- 3 Microsoft Azureにフォーカスする
- 4 パートナー戦略にフォーカスする
- 5 ブランド戦略にフォーカスする



1

# 企業業務（会計・人事・給与）の業務サービス及びEdgeサービスにフォーカス（注力）する



## 基幹業務システム

企業のバックオフィス（経理、人事、販売等）が行う会計税務、人事労務、販売管理業務を支援する業務システムです。クラウドサービスの『**奉行 i クラウド**』、『**奉行 V ERP クラウド**』とオンプレミスの『**奉行11シリーズ**』、『**奉行 V ERP Smart**』を各種ラインナップしています。

## 周辺業務システム

マルチデバイスで従業員とバックオフィス部門をつなぎ、業務プロセスを標準化して生産性をあげる当社のサービス群です。『**奉行クラウドEdge**』を各種ラインナップしています。



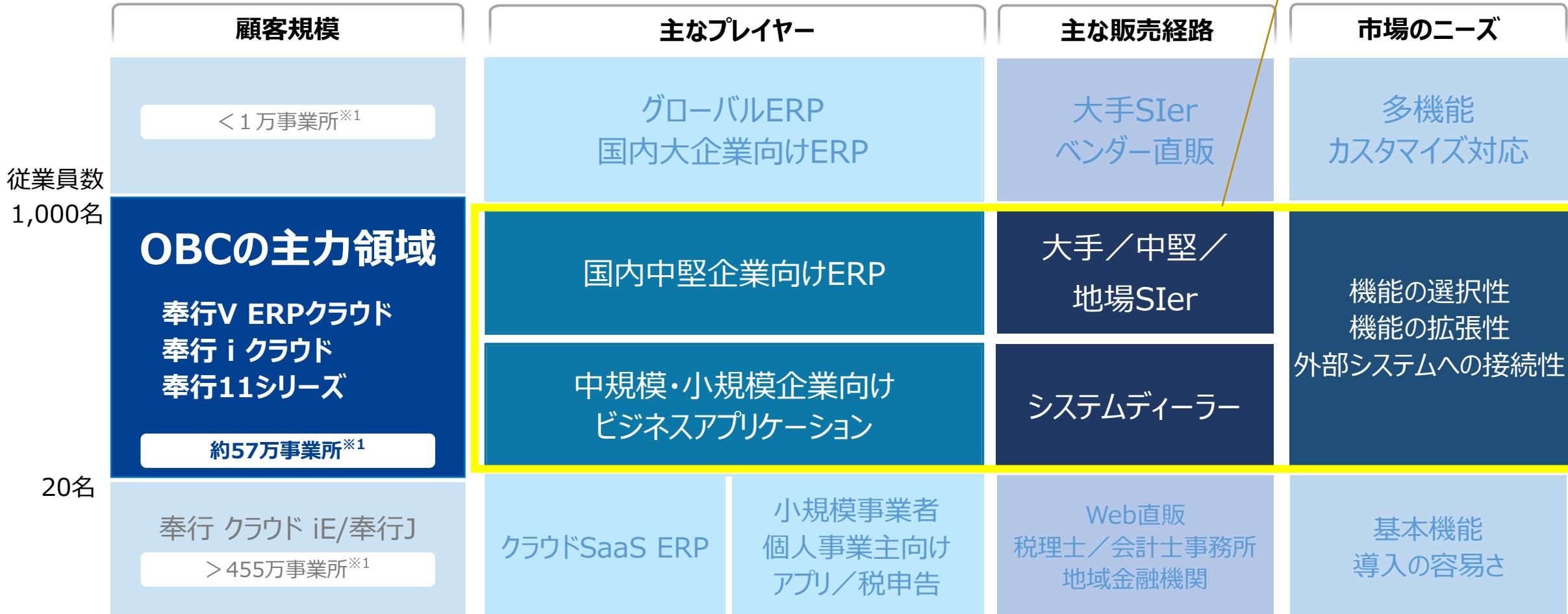
2

## 中堅及び中規模・小規模企業にフォーカスする



当社の強みであるパートナー戦略を活かし、中堅及び中規模・小規模企業を主力領域と定めています

パッケージソフトが導入しやすい+  
パートナー戦略が強みとなる領域



注：上記図のサイズは市場規模は無関係

※1：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査結果」より一部推計)



3

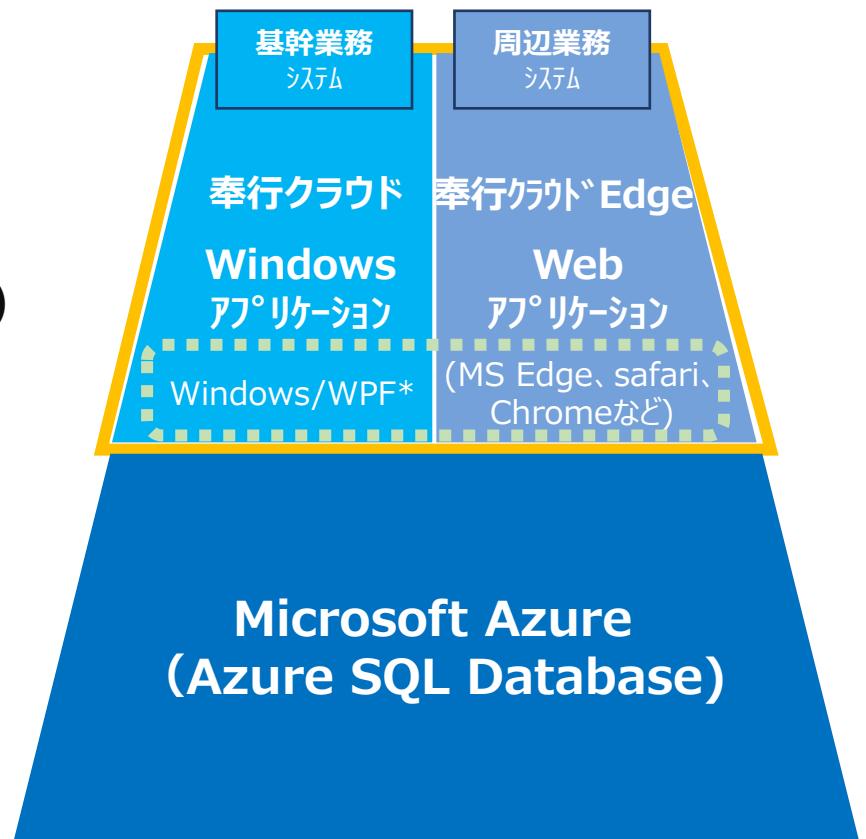
# Microsoft Azureにフォーカスする



## 当社プロダクトのシステムアーキテクチャー

Microsoft Azureの基盤上に、基幹業務システムは操作性や機能性を重視したWindowsアプリケーション（WPF）、周辺業務はアクセスの利便性や端末の多様性（マルチデバイス）を重視したWebアプリケーションの2つのテクノロジーで開発しています。

アプリケーション  
(ハイブリッド型)



システム  
プラットフォーム

\*WPF: Microsoft Windows Presentation Foundation

## ネイティブ クラウドによる強み

今まで以上の高品質

高い業務レベルに対応  
機能性・スピード・操作性  
AI活用によるサポート

いつでも・どこでも

業務環境の多様性に対応  
テレワーク、多様な働き方対応  
365日、24時間 世界中で稼働

つながる・ひろがる

業務のデジタル化を実現する  
データ自動連携  
APIエコノミー

職業専門家ライセンス

専門家のための専用ライセンスを標準提供  
監査・税務・社会保険などの職業専門家支援  
金融機関との連携

次世代マイクロソフト  
テクノロジーネイティブ  
開発による安全・安心

安全・安心な世界トップレベルのセキュリティ  
国際認証SOC1,SOC2報告書を取得  
ISMAPによるデータの信頼性の確保

販売パートナー制度を確立：お客様へのサービス提供はパートナー様を通じて行う  
 →多くのパートナー様と協力し、**全国のお客様にサービスをご提供できる体制**

### 販売パートナー



約3,000事業所数  
 約8,569指導資格タイトル保有数



約1,500会計事務所  
 約100金融機関

### ソリューションパートナー



324 連携ソリューション  
 273 connect partners



## 5 ブランド戦略にフォーカスする

すべての業務とつながるひろがる



即戦力 SaaS型

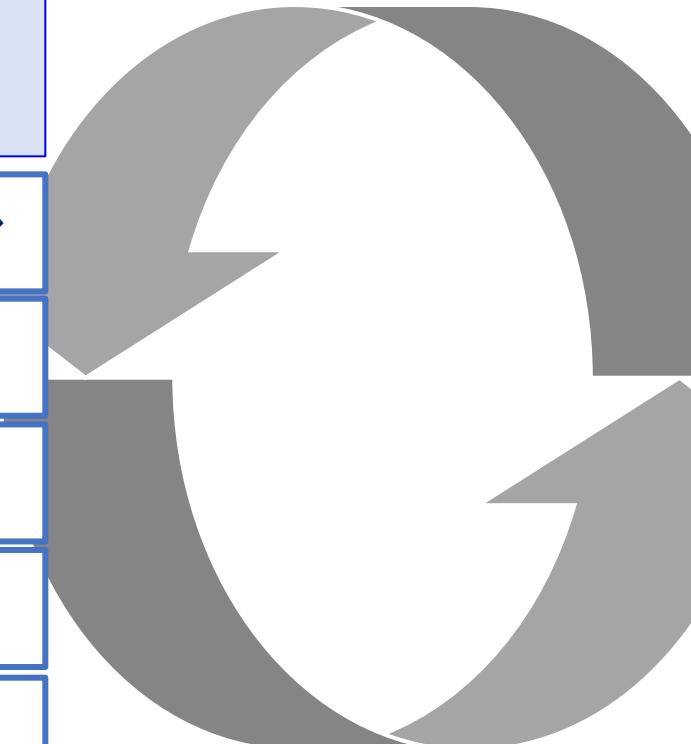


「奉行シリーズ」というブランドと歌舞伎役者のCMにより、ブランドイメージが浸透した結果、お客様への認知度もあがり、チャネルを拡大してまいりました。現在もTVCM等を活用し、ブランドの浸透に努めています。



## 「5つの強み」の相乗効果で 利益を拡大

- 1 企業業務（会計・人事・給与）の業務サービス  
及びEdgeサービスにフォーカス
- 2 中堅及び中規模・小規模企業にフォーカス
- 3 Microsoft Azureにフォーカス
- 4 パートナー戦略にフォーカス
- 5 ブランド戦略にフォーカス



- ・付加価値の高い  
サービスへの開発投資
  - ・提供力の強化
  - ・パートナー戦略
  - ・ブランド戦略
- ＜注力できる環境を維持＞

# 顧客満足向上・好循環を実現

# 製品・サービスのご紹介

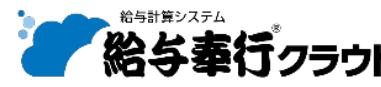


OBICでは基幹業務も周辺・拡張業務も網羅するサービスをそろえています。必要な業務で、必要なサービスだけを導入いただけます。

## 人事労務



総務・人事・労務業務システム  
**総務人事奉行クラウド**



給与計算システム  
**給与奉行クラウド**



年末調整・法定調書作成システム  
**法定調書奉行クラウド**



奉行Edge 労務管理電子化クラウド



奉行Edge 勤怠管理クラウド



奉行Edge 給与明細電子化クラウド



奉行Edge 年末調整申告書クラウド

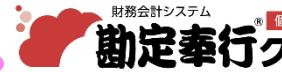


奉行Edge マイナンバークラウド

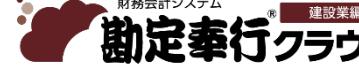
すべての業務とつながるひろがる  
**奉行クラウド**



財務会計システム  
**勘定奉行クラウド**



財務会計システム  
個別原価管理編  
**勘定奉行クラウド**



財務会計システム  
建設業編  
**勘定奉行クラウド**



債権管理システム  
**債権奉行クラウド**



債務管理システム  
**債務奉行クラウド**



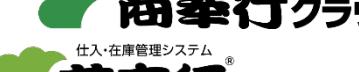
固定資産管理システム  
**固定資産奉行クラウド**



申告業務システム  
法人税・地方税編  
**申告奉行クラウド**



申告業務システム  
内訳書・概況書編  
**申告奉行クラウド**



販売管理システム  
**商奉行クラウド**



仕入・在庫管理システム  
**蔵奉行クラウド**



奉行Edge 発行請求書DXクラウド

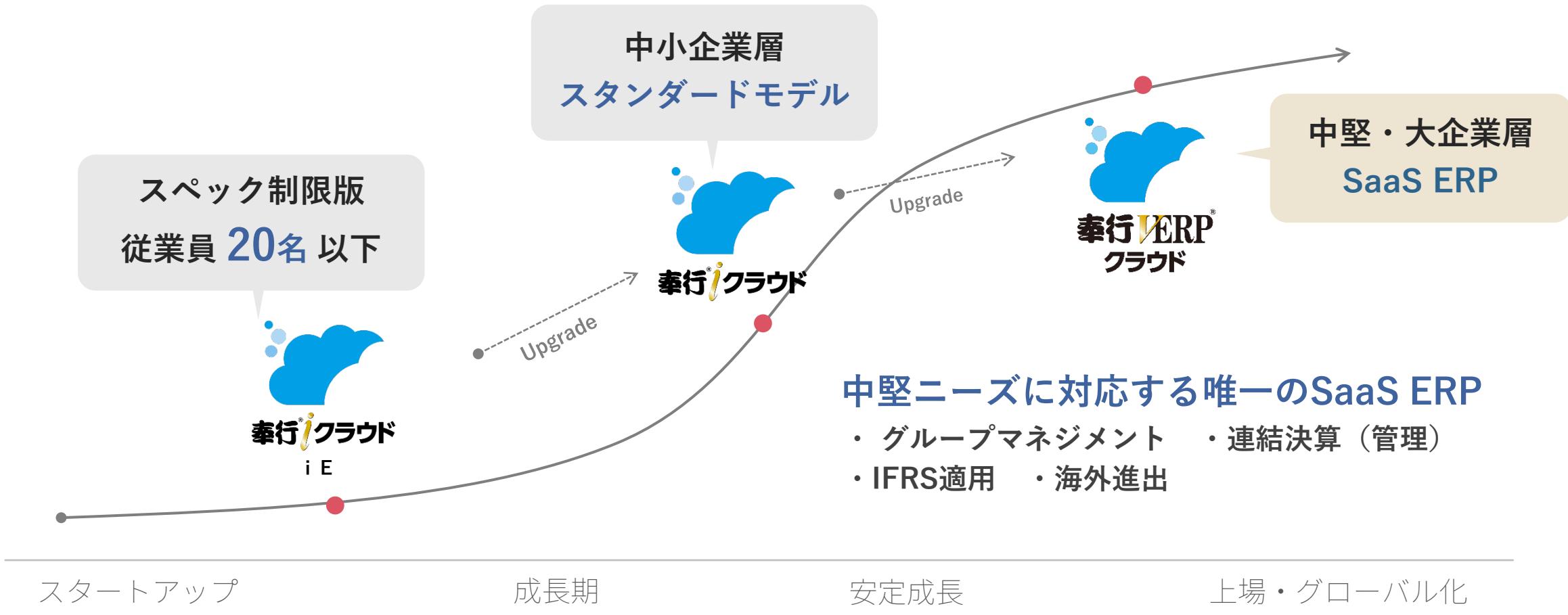


奉行Edge 受領請求書DXクラウド

## 債権債務・販売



スタートアップから上場後まで、企業規模に合わせたラインナップをご用意。  
各ステージに最適化されたコストパフォーマンスで「ずっと使い続けられる」クラウドサービス





## 奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

高い業務レベルに対応

今まで以上の  
高品質

機能性・スピード・  
操作性

2

業務環境の多様性に対応

いつでも  
どこでも

テレワーク  
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を実現する

つながる  
ひろがる

データ連携  
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

職業専門家  
ライセンス

専用ライセンスを  
標準提供

5

DXを成功に導く

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心



多様な業務環境の提供し、業務の生産性を向上させる

## 1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

### 従来の機能性に自動化機能を加え 精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。



### 業務のプロも納得のスピード

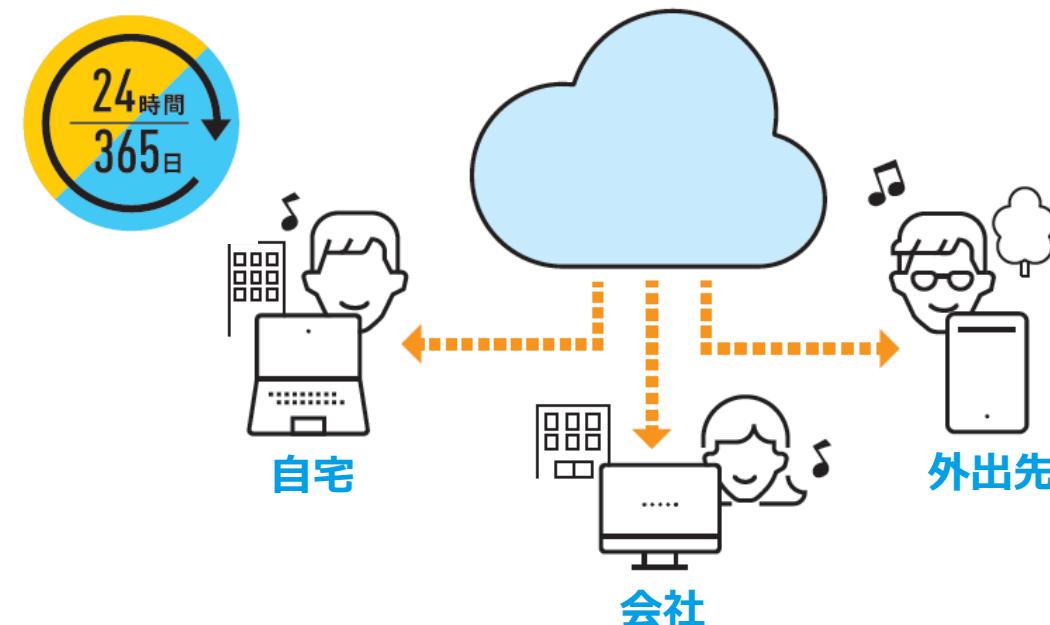
高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。

※Windows Presentation Foundation

## 2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、時間や場所にとらわれない働き方に対応



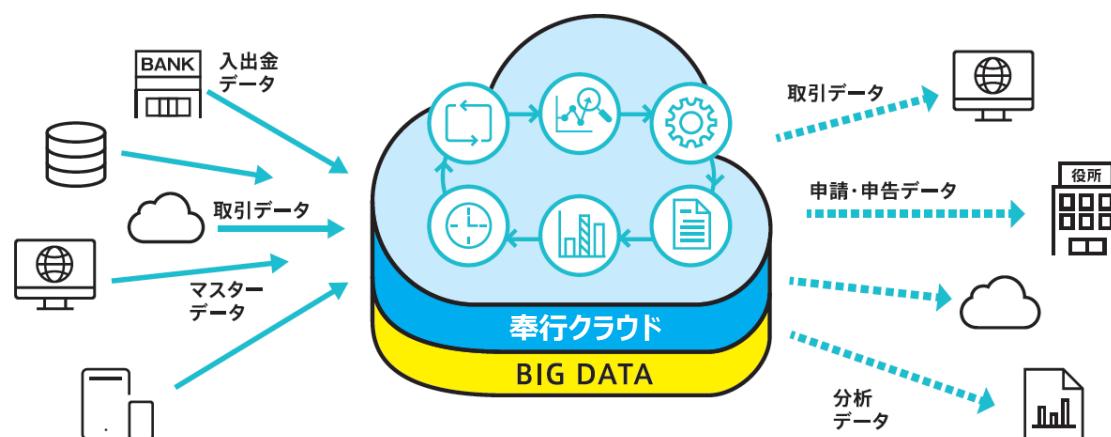


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

## 3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

データが自動的につながり、  
データ受入や入力作業が不要に

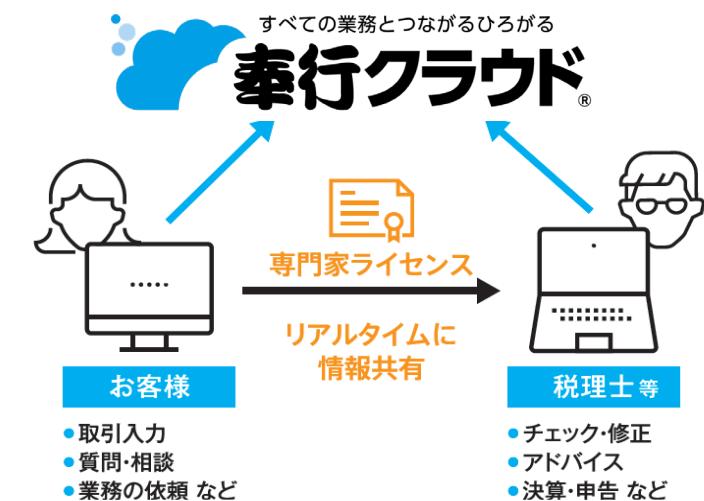


<https://www.obic.co.jp/bugyo-cloud/apiservice>

## 4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を  
受けながら  
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能





## 5 OBCが提供する3つの安全・安心

### ① Azure+SQL Database が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

#### 世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバーアタックを防御し、その情報を反映

#### 日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

#### 日本国内データセンター限定(国内法準拠)

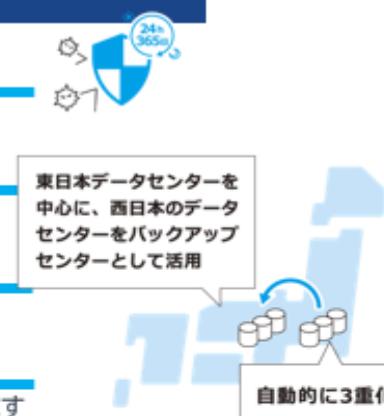
データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

#### 東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

#### 月間稼働率99.9%保証 (Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



### ② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

#### OBCiDによるアクセス認証・権限設定

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応

#### 暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

#### 24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

#### WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

#### 定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



### ③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

#### SOC1/SOC2 (内部統制/セキュリティ)

国際基準による第三者監査評価

#### ISMAP登録 (奉行クラウド、奉行クラウドEdge)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

#### ASMツール評価 最高グレード「A評価」を取得

外部公表資産のサイバー攻撃耐性を評価

#### 国内最高レベルの 開発・管理・運用体制

ISMAP・SOC+ASM評価による運用体制

#### 「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

#### 研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

#### Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。



## ■ ERP（統合基幹業務システム）部門



**7年連続 第1位**  
**通算18回目**

日経コンピュータ 2025年9月4日号  
顧客満足度調整 2025-2026  
ERP（統合基幹業務システム）部門  
(受賞歴)  
2005年～2011年  
2014年～2017年  
2019年～2025年

ERP（統合基幹業務システム）部門  
日経コンピュータ 2025年9月4日号  
顧客満足度調査 2025-2026  
ERP（統合基幹業務システム）部門 1位

## ■ 全評価スコアが全社平均を大きく上回る

	総合満足度	性能・評価	信頼性	運用性	コスト	サポート	継続意向度
重視度		61.3	62.4	60.6	43.6	31.5	
全体平均[有効指標は合計値]	55.3	62.1	66.5	51.3	36.4	53.1	59.7
オービックビジネスコンサルタント [奉行V ERPなど]	75.3	80.1	79.4	81.3	56.2	73.2	76.8
全体平均との差	20.0	18.0	12.9	30.0	19.8	20.1	17.1

※日経コンピュータ 2025年9月4日号掲載の表を基に自社で作成

## ■ 人事・HRテックソフト／サービス部門



**初調査**  
**第1位**

日経コンピュータ 2025年9月4日号  
顧客満足度調査 2025-2026  
人事・HR テックソフト／サービス部門  
人事・HR テックソフト／サービス部門 1位

日経コンピュータ 2025年9月4日号  
顧客満足度調整 2025-2026  
人事・HR テックソフト／サービス部門

## ■ 全評価スコアが全社平均を上回る

	総合満足度	性能・評価	信頼性	運用性	コスト	サポート	継続意向度
重視度		57.6	50.5	67.4	51.6	31.4	
全体平均[有効指標は合計値]	60.8	61.5	69.7	59.2	53.4	60.2	63.6
オービックビジネスコンサルタント [奉行V ERPなど]	68.3	70.7	76.4	67.7	56.0	72.2	70.7
全体平均との差	7.5	9.2	6.7	8.5	2.6	12.0	7.1

※日経コンピュータ 2025年9月4日号掲載の表を基に自社で作成



日経コンピュータ 2025年3月6日号

パートナー満足度調査 2025

ERP部門 第1位

OBC、5年連続 通算 13回目の第1位を獲得

(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2025年)

※本調査は製品ではなく企業を対象にしたもの。※前回は「基幹系ソフト／サービス」部門。



『基幹業務パッケージソフト(ERP)の  
市場展望(2025年度版)』  
デロイトトーマツミック経済研究所調べ



2025年版 中堅・中小企業のITアプリ  
ケーション利用実態と評価レポート(ノー  
クリサーチ)  
対象部門:会計管理  
対象製品:勘定奉行(クラウドを含む)

BOXIL SaaS AWARD Autumn 2025



給与計算ソフト部門



# 成長戰略



## Mission

“クラウドネイティブAzureのSaaS型ビジネスの確立”

# 5つの戦略

3 奉行クラウドEdge  
による周辺業務の  
デジタル化促進

1 奉行11シリーズ  
Up to Cloud

4 BPaaS戦略

2 奉行V ERP  
クラウド拡販戦略

5 AI・セキュリティ  
強化



## オンプレミスのクラウド移行戦略【第1段】

**奉行11シリーズ約 11万システム  
2027年4月末サポート終了【第1段】<sup>※1</sup>**

※1 20年3月～23年3月出荷製品

**2025年9月末時点**  
**奉行i 11シリーズ約8万システム 第1段：3万システム 第2段：5万システム**  
**奉行V ERP11シリーズ約3万システム 第1段：1万システム 第2段：2万システム**

+

**奉行11保守価格改定**

**UP to クラウド**

**IT導入補助金2年分の活用**

基幹業務システム

**奉行 11 シリーズ**



**クラウドユーザー向け専用イベントを  
オンプレユーザーにも拡大して開催**



**OBIC公式ユーザーイベント 奉行クラウド  
Thanks Day 2025  
Change!Challenge!**

オンライン開催  
**9/26 金 13:00 ~ 16:00**

入退室自由

**奉行ユーザーAWARD 2025 授賞式**

2. 特定親族特別控除の創設  
今年の変更点！ 令和8年分の扶養控除等（異動）申告書の様式が一部変更！ 「源泉控除対象親族」を記載することで、令和8年1月以降の給与計算に影響します！

改正内容  
アップデート機能追加 & 最新アップデート

わたしたちが目指すこと  
業務効率化 負担軽減 新しい挑戦 価値の創出

日々の業務に、想像を超える進化を  
みなさまが『奉行クラウド』を使いこなして 業務をもっと効率化することで新たな価値を生み出せるように、 今後もカスタマーサクセス＆サポートを強化してまいります

年齢：20歳 所得見積額：98万円  
山田 二郎さん



## 固定資産・リース資産の管理をフルカバー。新リース会計基準の対応準備に万全サポート

**新リース会計基準（2027年4月以降開始会計年度から強制適用）に標準機能ですべて対応**

奉行AIエージェント  
新リース会計識別クラウド

AIでリース識別

新リース会計対応実装済み

固定資産管理システム

固定資産奉行V  
ERP  
クラウド

仕訳自動作成

財務会計システム  
勘定奉行V  
ERPクラウド

① 影響額試算	② 適用初年度の 遡及計算	③ 使用権資産・リース 負債の計算	⑤ 仕訳伝票作成
<b>オンバランス化による 影響額の把握</b>  オンバランス対象の試算数、 遡及計算方法ごとの影響額 や自己資本比率を計算	<b>新規識別リースの登録</b>  新たにリースと識別 した契約情報を リース登録	<b>リース契約情報の登録</b>  リース契約番号 ごとに複数のリース を登録・管理	<b>新リース基準に則した 仕訳伝票の自動作成</b>  リース契約開始時 やリース負債等の 見直しをはじめとした 仕訳を自動作成
<b>影響額試算ツールExcelは 固定資産奉行V ERPクラウド へそのままインポートも可能</b>  →	<b>リース負債等の遡及計算</b>  経過処置を適用した 初年度影響額を 自動計算	<b>リース負債等の 見直し</b>  <b>契約条件やリース期間の 変更に伴うリース 負債等の見直し</b>  契約条件やリース 期間の変更があった 場合にリース負債等 を見直し	<b>注記情報</b>  <b>注記項目一覧表の作成</b>  注記作成に必要な金額を 自動集計
	<b>遡及計算影響額の確認</b>  適用初年度の期首 時点で計上すべき 仕訳金額を確認		<b>⑦ 税務要件への対応</b>  <b>税務上のリース取引区分 判定基準</b>  税務上の取引区分の判定・ 申告調整



## ノーコード・ローコードデータ連携、APIによる他社ソリューションとの連携

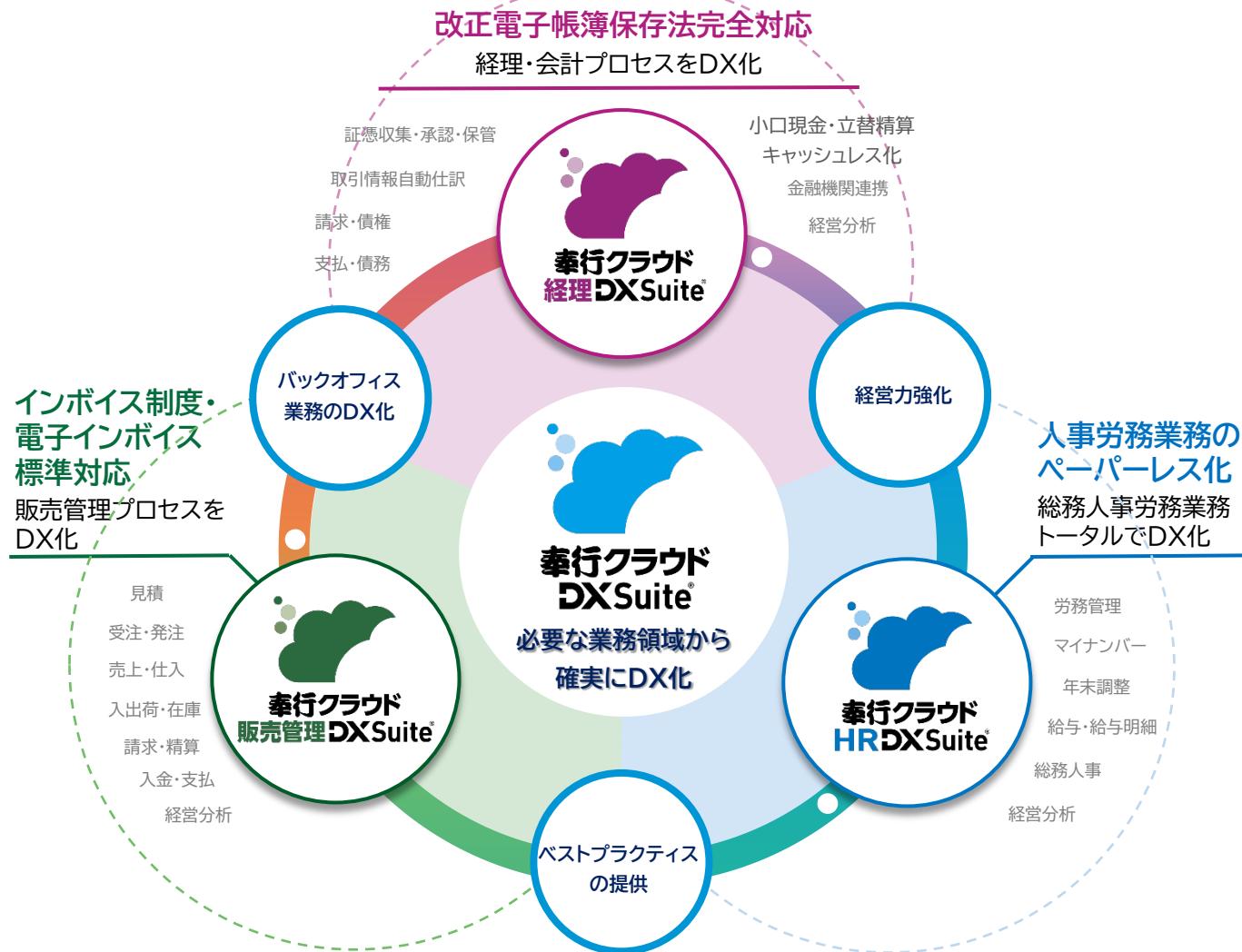
8社のツールパートナーと運用を具体化する取り組みを実施することで  
お客様独自の業務をSaaSで補完し完結





## 最新制度をもれなく標準搭載し、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」

「育児介護休業法改正実務」「103万円の壁の廃止に伴う年末調整実務」に完全対応



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します。

**奉行クラウド DX Suite®**  
= 時代に整合したベストプラクティスの提供





## どんな企業でも請求書DXがうまくいく、請求書DXサービスの決定版

請求書の形式を問わずペーパーレス化が可能で、面倒な手作業やミスがゼロになる

さらに、請求書の発行・受取側どちらもPeppol仕様を利用なら、PDFの読み取りや保管業務もゼロに

### 奉行Edge 発行請求書DX クラウド

請求書のデジタル発行があっという間に終わる！

#### メリット1

PDFでも紙でも送付作業を  
全て自動化



#### メリット2

送付状況を可視化することで  
ミスや漏れがなくなる



#### メリット3

利用中の販売管理システムと  
スムーズにつながる



### 奉行Edge 受領請求書DX クラウド

請求書の受領から支払まで一気通貫でデジタル化

#### メリット1

社内の請求書をデジタルで  
集めて支払業務が素早く完了



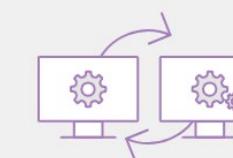
#### メリット2

請求書支払の  
ミスや漏れを防止



#### メリット3

利用中の会計システムと  
スムーズにつながる





## 業務アウトソーシングはクラウドサービスとの融合により大きく進化・発展

記帳代行のような作業をメインとするアウトソーシングはクラウドを活用した支援業務に進化

### BPO

特定の業務プロセス  
そのものを外部企業  
に委託するサービス

### BPaaS

企業が自社で行っていた特定  
の業務プロセスを、外部企業  
が提供するクラウド上の  
サービスに委託することで、  
業務効率化を目指すサービス

### SaaS

ソフトウェアをクラウド上  
で提供するサービス

この進化に対し、奉行クラウドが貢献



## 「奉行クラウドBPaaS」の展開を開始

### OBCのBPaaS戦略の狙い

中堅・大企業から中小企業までのBPaaSニーズの高まりを背景に、攻めと守りの両輪で奉行クラウドビジネスを成長させる

#### BPaaSニーズの高まり

##### 中堅・大企業など

- 業務量増加への対応として、高度な業務と標準的な業務とを切り分けて、BPaaS利用によって効率化を図りたい

##### 中小企業など

- 担当者の退職によって業務が回らない
- BPaaS利用によって業務属人化リスクを解消したい



#### 攻め

##### “新規顧客獲得”

中堅・大企業のBPaaSニーズを取り込み、新規売上を増大

#### 守り

##### “奉行ユーザーの離脱防止”

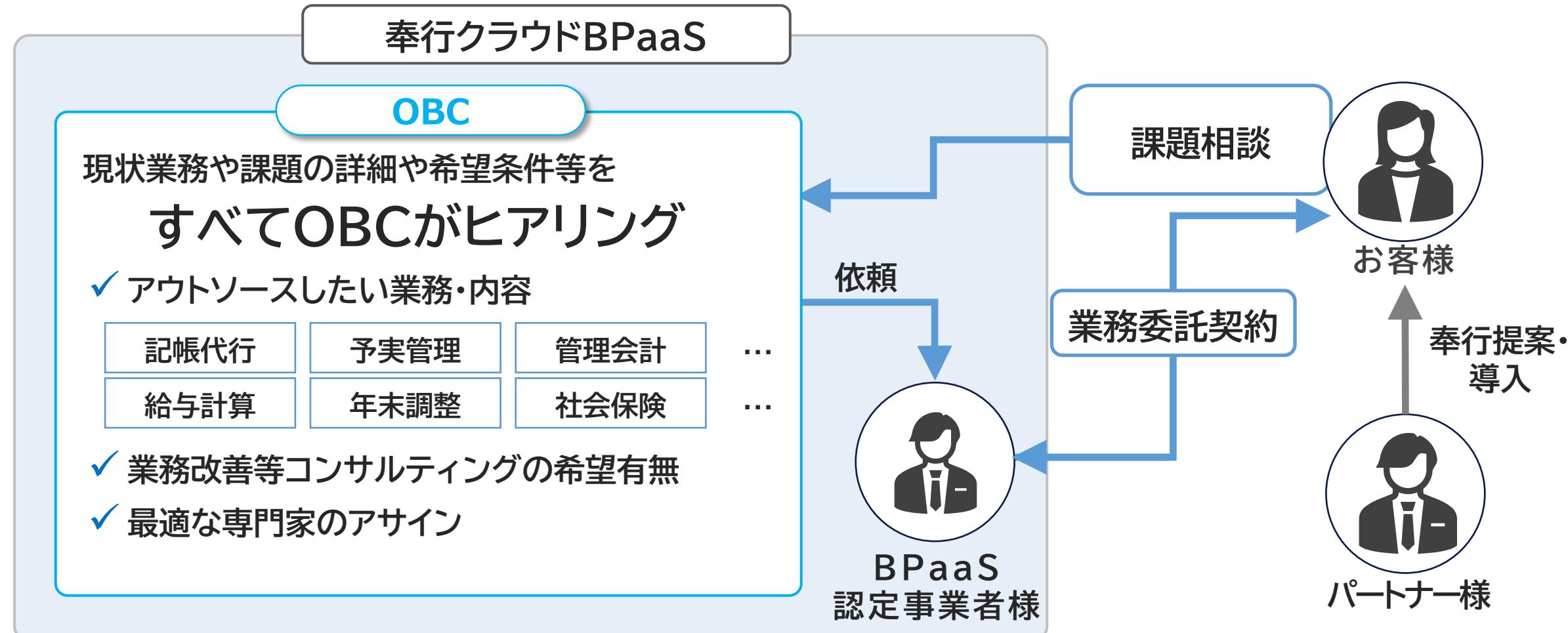
既存ユーザー様の担当者退職や休職による解約リスクを阻止



## 「奉行クラウドBPaaS」の展開を開始

OBGがお客様のBPaaS相談の入口となり、ニーズの詳細を把握の上、最適な専門事業者様を紹介

奉行クラウド®利用により提供されるBPaaSサービスによって、お客様の課題解決・業務効率化の実現に資する





## AIの取り組み



# OBCによるAX実現に向けた AI戦略

# 奉行クラウド AIアシスタント

## OBCの ナレッジ＆テクノロジー で生産性向上を実現

# 顧客満足度 向上に貢献

# 奉行クラウド AIエージェント

# OBCのテクノロジー × パートナー様のナレッジ で支援領域拡大を実現

# パートナー満足度 向上に貢献



※今後提供予定の機能・サービスを含みます



# 奉行クラウド AIアシスタント機能例

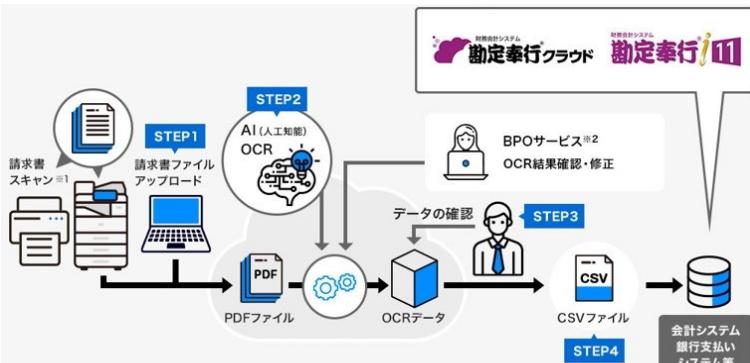
## 銀行入出金データ、 クレジットカード利用明細データからの自動仕訳

This screenshot shows a software interface for managing bank deposit and withdrawal data. It includes a search bar at the top and a main grid displaying transaction details such as date, account number, name, amount, and type. A summary table at the bottom provides a breakdown of amounts by department.

部門	金額	合計
第一営業部	1,367,415	1,367,415
先進金	135	135
西部銀行本店	1,368,215	1,368,215

## AI-OCRオプション for 奉行クラウド

AI×OCRで請求書内容の自動データ化により  
経理業務を効率化



## 奉行AIチャット（奉行クラウド全製品）

「知りたいこと」に的確に回答し、日々の業務をアシスト

This screenshot shows a chat interface within the Kōsei Cloud system. A message from the AI assistant asks for help with a specific question about accounting documents. The user's response is shown in blue, and the AI's reply is in purple, demonstrating its ability to provide accurate answers to business-related inquiries.

## 自然言語での仕訳・社員検索

This screenshot shows a journal entry screen. An orange box highlights a message: "売り上げが100万円超える仕訳" (Journal entry for sales over 1 million yen). Below this, a note states: "以下の条件を生成しました。" (The following conditions were generated) followed by a list of filters applied: 伝票日付 25年 4月 1日 ~ 26年 3月 31日, 伝票出力順 伝票日付の新しいものから表示, 勘定科目 売上高.

## 勘定奉行クラウドGlobal Editionでの多言語対応・自動翻訳

例) タイ語で入力された摘要の文字の翻訳イメージ

This image compares a journal entry in Thai (left) and English (right). The Thai version shows the original text in Thai characters, while the English version shows the same text translated into English. A red box highlights the summary text "บริษัทฯได้รับรวมลูกหนี้" (Debt received) and "未収売掛金" (Unbilled receivable).

仕訳伝票上で入力された  
現地語の摘要は  
日本語や英語に  
翻訳可能

※今後提供予定の機能・サービスを含みます



## リースの識別をAIでサポートする『奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド』を発売

### 奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

- ✓ 契約書を1件ずつ確認しながら、  
リース識別の業務に時間がかかる…
- ✓ リース識別の判断や根拠にミスがないか不安…



AIがリース識別をサポート！

新リース会計基準適用の第一歩！  
『リース識別』への課題を迷わず最短で解決！

契約書データを  
アップロード

リースを含む可能性のある契約の識別を  
奉行AIエージェントがサポート

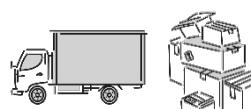
識別結果をもとに手間なく  
リース資産として登録

#### 識別したい契約書

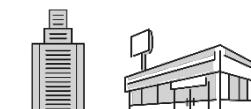
##### 製造委託契約



##### 物流委託契約



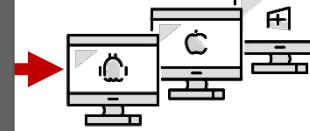
##### テナント契約



まとめてアップロード！

The screenshot shows a user interface for contract recognition. It displays several PDF files uploaded for analysis. A red arrow points from the 'まとめてアップロード!' button to the interface. A callout bubble says "リース"を含む可能性が高い or 低い.

#### 固定資産管理システム



CSVデータを取り込

データ出力



固定資産奉行VERP  
クラウド

そのままデータを取り込



## 連結会計支援クラウド（奉行AIエージェント）



複雑かつ手間のかかる連結会計業務を  
AIエージェントが支援・代行する

連結会計業務における最大のボトルネック

### 個社のデータ収集～照合の課題をすべて解消

#### 子会社のデータ収集



- 異なる会計システムを利用しているため、フォーマットがばらばら
- 連結パッケージの作成負荷が大きい

#### 内部取引の突合で差異発生



- 伝票の起票漏れ、取引先フラグの間違い、形状付きのずれなど、様々な原因により差異が発生

#### 膨大な伝票から原因調査



- 複数の会社間取引の伝票から探し出すのに非常に手間かかる
- 個社に伝票修正を指示して修正を待たないといけない

差額が小さくなるまで繰り返し行う（速報版・修正版・確定版など）  
最大のボトルネック



# 成長戦略 - 5 AI・セキュリティ戦略 3つの安全・安心



## ① Azure+SQL Database が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

### 世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバーアタックを防御し、その情報を反映

### 日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

### 日本国内データセンター限定(国内法準拠)

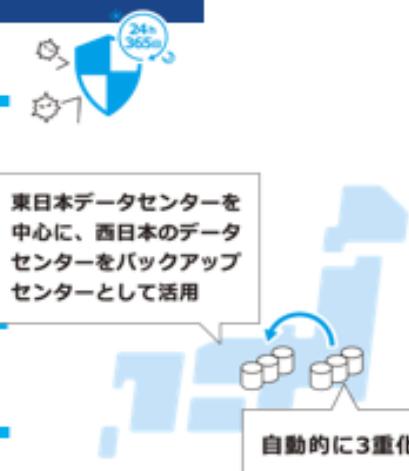
データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

### 東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

### 月間稼働率99.9%保証 (Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



## ② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

### OBCiDによるアクセス認証・権限設定

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応



### 暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護



### 24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

### WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

### 定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除

## ③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

### SOC1/SOC2 (内部統制/セキュリティ)

国際基準による第三者監査評価

### ISMAP登録 (奉行クラウド、奉行クラウドEdge)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

### ASMツール評価 最高グレード「A評価」を取得

外部公表資産のサイバー攻撃耐性を評価

### 国内最高レベルの 開発・管理・運用体制

ISMAP・SOC + ASM評価による運用体制

## 「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

## 研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

## Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。



## 『奉行 i クラウド』『奉行 V ERPクラウド』『奉行クラウドEdge』、ISMAPクラウドサービスリストに登録



**ISMAP** (Information system Security Management and Assessment Program)  
日本政府がクラウドサービスを調達する際のセキュリティ基準を定めた評価制度です。  
厳格な審査を経て、信頼性の高いサービスのみが第三者評価を通じて登録されます。

### ISMAPの主な利点・特徴

#### 国内最高水準の基準対応が OBGクラウドの価値を証明

政府が定める国内最高水準のセキュリティ基準に準拠したクラウドサービスの提供により、OBGはサービスの信頼性とブランド価値を高めています。

#### 信頼できるクラウド選択

企業や自治体は、ISMAP登録クラウドを選択することで、国の基準に準拠した安全性の高いサービスを安心して導入できます。

#### ISMAP継続で最高水準の セキュリティ体制を維持

OBGはISMAP登録を継続することで、常に最新の安全基準に対応した、信頼性の高いサービスをお客様に提供できます。またお客様は永続的に高度なセキュリティを享受できます。

### “国産SaaS ERPとして初の登録”

奉行クラウドシリーズの第三者認証は、既に取得済みであるSOC1・SOC2レポートに加え、日本政府が求めるセキュリティレベルを評価するISMAPに国内業務ERPとしては初登録。



### “ISMAP登録により行政市場への展開拡大”

デジタル庁が推進する「デジタルマーケットプレイス（DMP）」への掲載により、民間企業向けクラウドサービスが行政機関・自治体にも広く展開可能となりました。今後の販路拡大に寄与することが期待できます。



行政機関（国や自治体）はDMPに掲載しているSaaSからシステムを選定

奉行主力製品はDMP登録済  
すでにDMPを通じた案件流入実績あり

# 株主還元

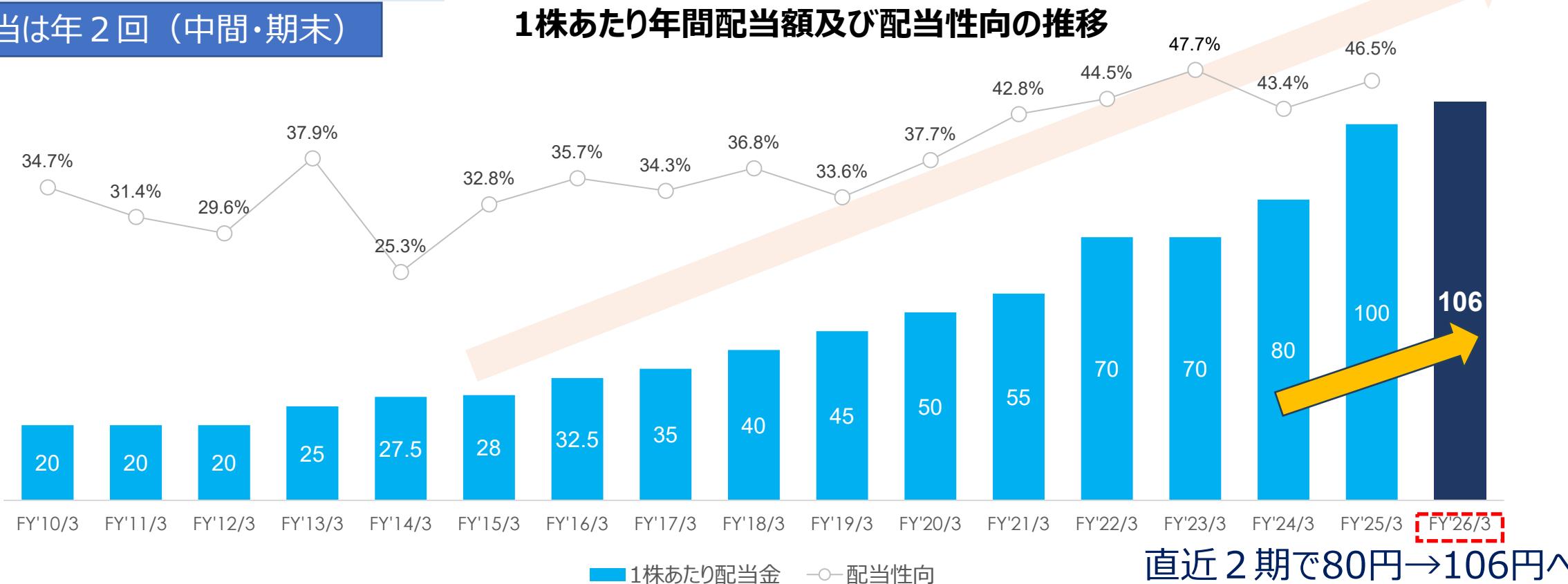


# 株主還元 - 長期安定還元方針

## 【基本方針】

配当性向45%程度を予定  
長期に安定した利益還元を維持し、  
利益成長に合わせた増配を目指す

配当は年2回（中間・期末）



2014年3月期、2019年3月期は、1株につき2株への株式分割を行っており、分割遡及値で表記しています。

直近2期で80円→106円へ  
累計**32.5%**増配



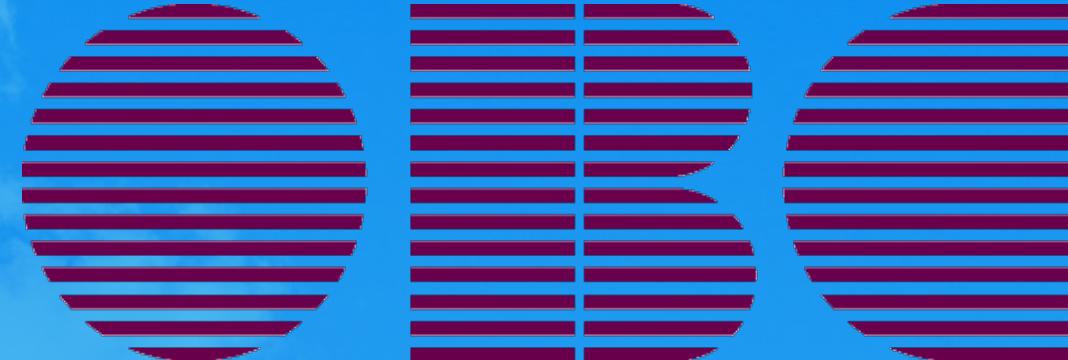
所有株式数に応じて、コンビニやファミリーレストラン、ガソリンスタンド等で  
使用できる全国共通のプリペイドカード「QUOカード」を贈呈しています。

所有株式	優待内容
100株～1,999株	3,000円相当の「オリジナルQUOカード」
2,000株～19,999株	6,000円相当の「オリジナルQUOカード」
20,000株以上	9,000円相当の「オリジナルQUOカード」



■毎年6月に贈呈（予定）





OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

ご参加・ご清聴いただき、誠にありがとうございました。

当社IRに関するお問い合わせは、当社ホームページ  
「IR情報」の「IRに関するお問い合わせ」からお願いいたします。

<https://corp.abc.co.jp/ir/faq/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。  
本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。  
本資料の情報の利用は、利用者の判断によって行ってください。本資料の情報を利用した結果、利用者に生じたいかなる結果、損害についても、当社は一切の責任を負いません。